

# 目指せ!! 日本一の190E

(旧セパンへの道) VOL.5

撮影=武井企画 文=鈴木俊男  
取材協力=  
G-SONIC <http://www.g-sonic.jp/>  
SPEED JAPAN <http://www.speedjapan.co.jp/>  
(有)RS FINE (株) 武井企画  
公式ブログ: <http://www.g-sonic.jp/>

M.Benz 190E 2.3-16  
Race Project  
Top of Japan !!

紆余曲折を経て再び始動したレースプロジェクト。オトナの男たちが大人気ないまでに190Eを遊びつくし、大胆(無謀!?)にも日本一の同車を目指す当企画。今回は事故で廃車となったG-SONIC号の後継車を紹介だ!



このベースカーでイチから再出発だ!!



G-SONICエンジェル  
七海絵里子ちゃん

サーキットに花を添えるG・SONICエンジェルの一員、七海絵里子ちゃん。オトナげない男たちに、オトナの辛抱強さを付き合ってくれました。

新たなベースカーは  
絵に描いたようなヤレ車

某月某日の深夜。G・SONICエンジェルの絵里子ちゃんは、ぐっすりと寝入っていたところを、遠慮ない一本の電話で叩き起こされた。「オレオレ。チャ武だよー。オレ、明日ベンツを買いに行くんだけどさ、一緒に見に行かない? っていうか、ベンツをかう瞬間のオレを見に来ない? その瞬間のオレ、そうとうオットコ前だと思っよー!」

何時だと思ってるんですか! ……と怒鳴りたいのをぐっと飲み込む絵里子ちゃん。オトナげない190Eレースプロジェクトのメンバーよりも、よっぽどオトナなのだった。

押し切られて付き添いを承諾した彼女。「相手が武井さんってのはアしだけど、二人つきりじゃないみたいだし。それに何よりベンツだし! セレブなお買い物に付き合うのは楽しいかも!」なんてポジティブに気持ちを入れ替えるのだった。

——そして翌日。  
鏡のように磨き上げられた床。天井は空のように高く、静かに流れるのはパツパツの響き。果てしなくゴージャスなディーラーショールームで、礼儀正しい営業マンに恭しく迎えられる絵里子ちゃん。「何か楽しい! やっぱり武井さんに付いてきて良かったあ!」

……なんてことはまるで無く、「……これがベンツ? っていうか露天?」と、力なく呟く彼女だった。目にしたものは、寒空の砂利敷き駐車場に置かれた、車検切れの古ぼ

ある日の出来事……



何の話しているの?

ワイワイ ガヤガヤ



何か面白いことしようよ~



やっただわ

そろそろ行こうか



歩きなの?

テクテク

「クルマじゃなくて歩きで行くの? この近くにベンツのディーラーさんなんかあったかしら……?」。イヤな予感がじわじわと。

ようやく重い腰を上げたメンバーたち。木枯らしに凍える絵里子ちゃん。「でも、ディーラーさんのショールームに行くまでの辛抱よね」

そんな絵里子ちゃんの気持ちをじらすかのようについに、ひたすらクルマ談義に興じるチャ武。「いつになったらベンツ買いに行くの……?」

集まるとたん、クルマ談義に盛り上がるオトコたち。「今日はベンツを買いに行くのよね?」と思いつつも付き合う絵里子ちゃん。

# 新たなベースカーを初公開!! ここからどう仕上げていく?



外觀とは異なり意外に綺麗なエンジンルーム。今はミッション・ブレーキ回りと共に、クラッシュしたマシンのエンジンを移植する予定。試乗してないため、剛性がどの程度なのかは未知数だ。



完璧にノーマルな内装は全て取り払う。ロールオーバーにフルバケットシートのスパルタンなコクピットに変身予定。



ボディの中でも特に劣化の激しいのがリアフェンダー。まるで粗目のヤスリかと思うようなザラザラな手触り。



購入した190Eは85年式のAT車。走行距離は10万7000km。ヘッドライトの中にはたっぷり雨水がたまり、かなりくたびた様子です。ちよっぴり不安な車体だ……。

## 協力SHOP S-FACTORY



助っ人として活躍してくれたエスファクトリーの柴田氏。正規ディーラーメカニック出身の確かな腕の持ち主だ。

エスファクトリーはベンツ・BMWを中心に扱うドイツ車のスペシャリスト。一般整備から車検整備、オークション代行など、幅広く対応してくれるショップだ。  
東京都江戸川区篠崎町7丁目11番5号  
TEL: 03-5636-5122

けたベンツ。  
「……そっか。今日のお買い物って、武井さんのプライベートな新車ベンツじゃなくって、190Eレースプロジェクトのベース車両だったのね。ってことは、G・SONICエンジンジュエルのは、これからはこのベンツを応援することになるんだわ」  
色あせたベンツのボディに手を触れてみた。長く放つて置かれたらしいボディは、悲しいほどにザラザラな手触りだ。見れば、ヘッドライトの中には雨水がたまっている。  
「……なんだか応援のしがいが無いなあ……」再び襲ってくる落胆をなおも振り払い「……違う、違う。クルマだって男の人と同じよ。顔じゃなくって中身勝負よ!」と考え直し、チャ武がエンジンをかけようとするのを見守った。  
ところがバッテリー切れのためにエンジンはかからず。救援のバッテリーを繋いで再チャレンジしたものの、やはり始動せず。  
「……そんなこんなで手に入れた新たなベースカー。この古ぼけたベンツが、果たしてどれほど華麗な変身を遂げるのか。今後のモディファイに乞うご期待! (文・鈴木俊男)」

## 各部の点検と前マシンからのパーツ移植!!

とりあえず見つかった190E。新たなベース車両として変身させるため、まずは各部の点検。そして大破したマシンからのパーツ移植がよいよスタートだ。

### NEXTチャレンジ!



「キレイなショールームでセブなお買い物気分を味わえると思ったのに〜!」。とはいえ、最後には笑顔になった絵里子ちゃんでした。



寒空の下で自走不可のベンツを手で押して動かす手伝いまでさせられた絵里子ちゃん。「まさか私、このために呼ばれたの?」



連れてこられたのは砂利敷きの駐車場。「こ、これがベンツ? 確かにベンツだけど……。まさかここが目的地じゃないですよね?」



「イヤな予感」の次に襲ってきたのは、チャ武のセクハラ攻撃。「いやーだーっ!」。全身全霊の拒絶に、チャ武あえなく撃沈。